

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予察防除情報第19号

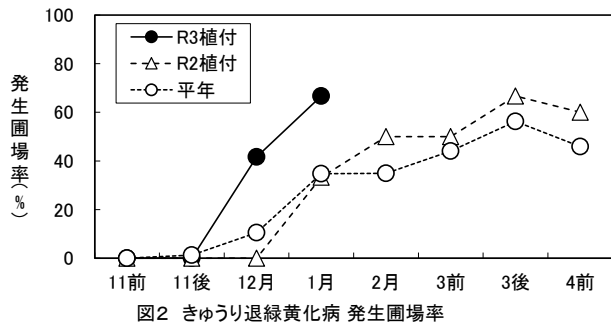
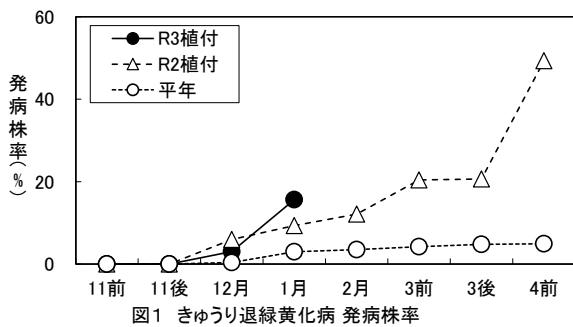
きゅうり 退緑黄化病の防除対策について

きゅうりにおいて退緑黄化病の発生が多い傾向にあり、今後、発生拡大が懸念されます。下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

1月前期の巡回調査（12筆）の結果、発病株率は15.6%（平年 3.0%）、発生圃場率は66.7%（平年 34.8%）で（図1、2）、一部多発圃場が見られた。



2. 防除対策

- (1) 発病株は見つけ次第抜き取り、ハウス周辺に放置しない。
- (2) 病原ウイルスはCCYV（ウリ類退緑黄化ウイルス）で、タバココナジラミによって媒介される。本ウイルスは経卵伝染、汁液伝染、土壌伝染、種子伝染はしないので、タバココナジラミの防除を徹底する。
- (3) タバココナジラミの密度が高くなると防除が困難になるので、黄色粘着トラップを施設内に設置してタバココナジラミの早期発見に努め、発生初期に防除する。
- (4) ハウス内の雑草はタバココナジラミの生息場所、増殖源となるので除去する。
- (5) 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和3年長崎県病害虫防除基準P158～161の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jpnn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所） TEL：0957-26-0027

